

平成 24 年度 福岡市におけるインフルエンザの流行状況

保健科学課 ウイルス担当

福岡市における 2012/2013 シーズン（平成 24 年度）のインフルエンザ様疾患の集団発生は 2013 年第 3 週（1 月 14 日）から流行が始まった。集団発生は、第 4 週目にピークが認められた（図 1）。福岡市内における集団発生は計 137 施設で発生し、患者数は 1,820 人であった（表 1）。

2011/2012 シーズンの患者数（3,217 人）と比較し減少した（表 2）。

感染症発生動向調査においては、第 51 週目あたりから患者数が増加し、流行のピークは集団発生と同時期の 2013 年第 4 週目であり、その後は終息に向かった（図 2）。

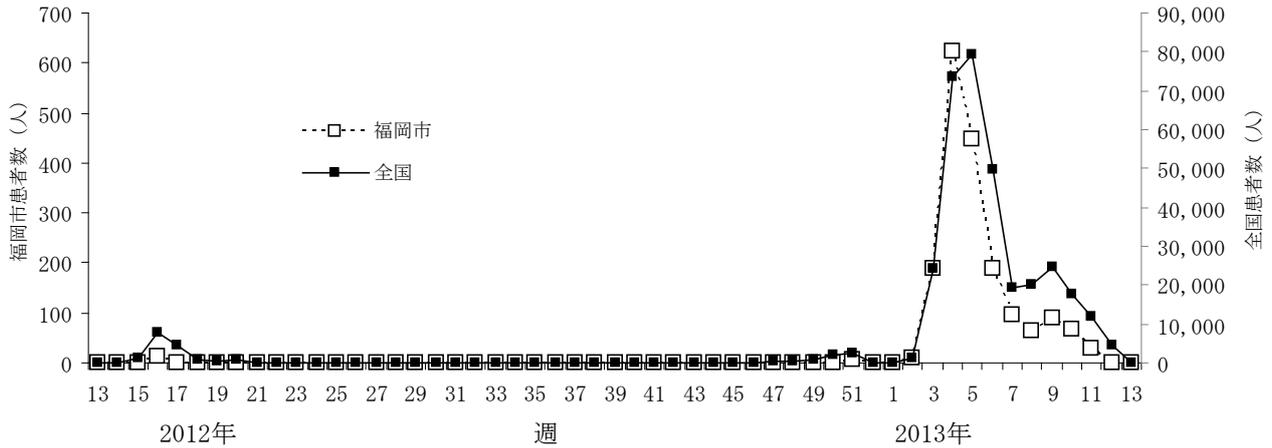


図 1 インフルエンザ様疾患集団発生患者数

表 1 集団発生事例における施設別発生状況

施設	発生施設数	在籍者数	患者数	休校数	学年閉鎖	学級閉鎖
幼稚園	45	1,917	612	4	3	38
小学校	64	2,154	766	0	4	60
中学校	12	657	189	0	3	9
その他	16	878	253	1	3	12
計	137	5,606	1,820	5	13	119

表 2 過去 5 年間の年度別集団発生患者数

年度	2008	2009	2010	2011	2012
患者数	1,560	19,439	2,488	3,217	1,820

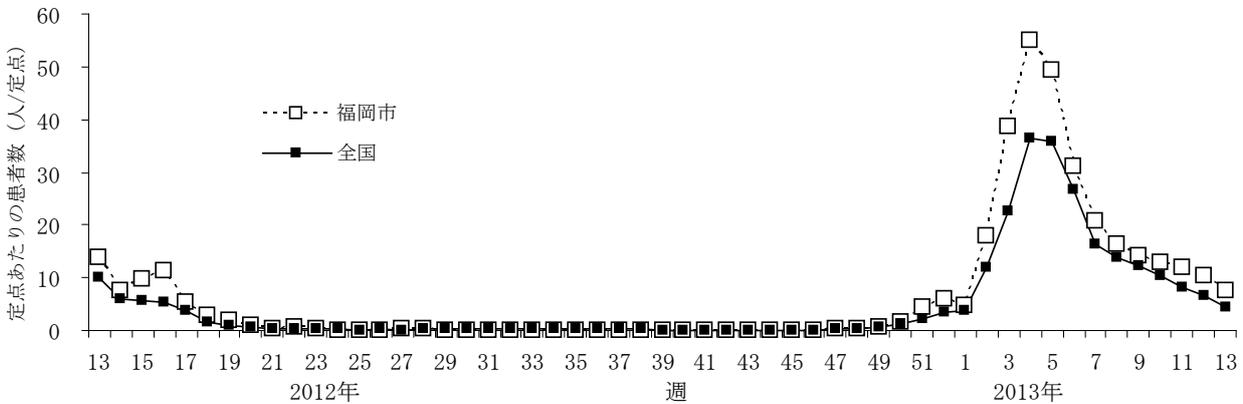


図 2 感染症発生動向調査患者定点あたりのインフルエンザ患者報告数

感染症発生動向調査からのウイルス分離は AH3 型が 13 株、B 型が 3 株であった (図 3)。2011/2012 シーズン

と同様で、2012/2013 シーズンは AH3 型、B 型による流行であった。

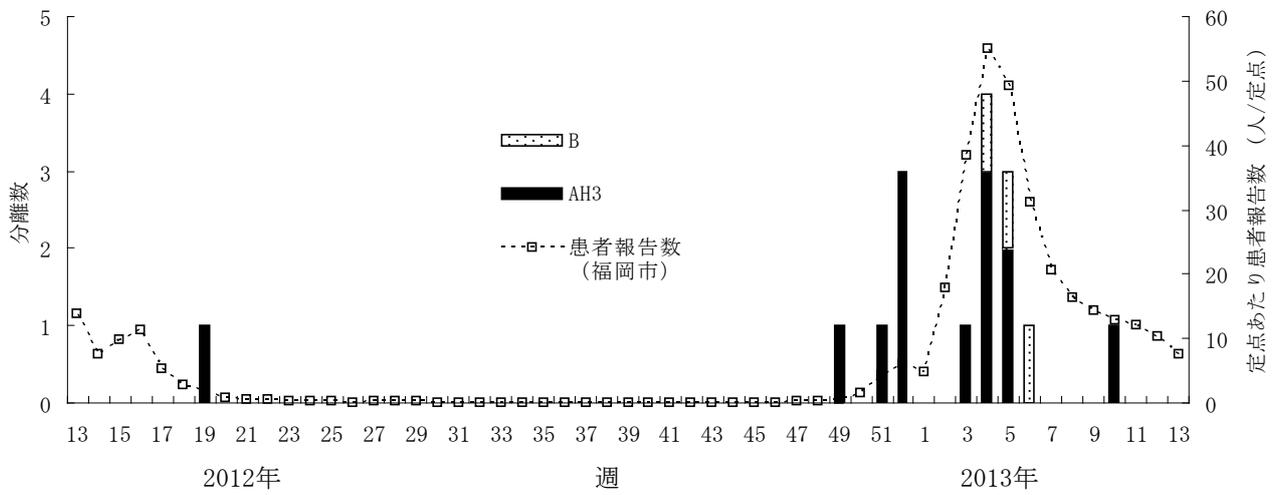


図3 福岡市における感染症発生動向調査患者定点あたりのインフルエンザ患者報告数とウイルス分離数